

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	係留施設等の詳細検討にかかる技術協力業務
業務概要	<p>対象施設</p> <p>一般栈橋、燃料栈橋・ドルフィン、防波堤、接続施設、消波堤防、係留施設、付帯施設（港内消波工）</p> <p>業務内容</p> <p>計画準備、協議・報告、技術協力業務（類似事例の収集整理、現地調査、詳細検討の確認、施工計画の作成、技術情報等の提出、全体費用の算出、関係機関等との協議資料作成支援、技術提案、詳細検討調整協議）、照査、成果物</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	<p>支出負担行為担当官 九州地方整備局副局長 松良 精三</p> <p>福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7</p>
契約年月日	令和3年12月7日
契約業者名	五洋・東亜特定建設工事共同企業体
契約業者の住所	福岡市博多区博多駅東2丁目7番27号
契約金額	29,810,000円（税込み）
予定価格	29,821,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	<p>本案件の対象となる係留施設等は、離島における大規模な港湾の施設であり、本案件に係る施工は、外洋に面した無人離島での海上作業という、極めて特殊な条件下での施工になる。また、本案件に係る施工を早期かつ確実に実施するためには、仕様の前提となる条件を確定できない早期の段階から、施工を念頭に置いた高度で専門的かつ技術的な知見等を防衛省が実施する詳細検討業務に反映させる必要があるため、発注方式として技術提案・交渉方式を採用し、技術協力・施工タイプを適用して技術提案を求めた。</p> <p>選定にあたっては、「1）技術協力業務の実施に関する提案」、「2）防波堤における、施工期間の短縮を意識した施工上の課題と対応策に関する提案」、「3）燃料栈橋及び一般栈橋における、「施工期間の短縮を意識した施工上」及び「維持管理上」の課題と対応策に関する提案」及び「4）海上作業時における安全確保の課題と対応策に関する提案」について、技術提案書を審査した結果、事業目的達成のために総合的に評価の高い技術提案を行った五洋・東亜特定建設工事共同企業体を優先交渉権者として選定したものである。</p> <p>本業務は、優先交渉権者の技術提案を詳細検討に反映させるための技術協力業務であり、五洋・東亜特定建設工事共同企業体が業務の履行が可能な唯一の者である。よって、会計法第29条の3第4項の規定に基づき五洋・東亜特定建設工事共同企業体と随意契約を行うものである。</p>
業務場所	鹿児島県西之表市馬毛島地先
業種区分	建設コンサルタント等業務
履行期間（自）	令和3年12月7日
履行期間（至）	令和4年7月29日
備考	